

事業計画書

1. 団体名	ぴんくりぼんかめおか実行委員会
2. 事業名	ぴんくりぼんかめおか啓発活動
3. 本支援金活用回数	☐ 1回目 ☒ 2回目 ☐ 3回目
他補助金との併用	☐ 併用なし ※初回は10/10交付・2回目以降は3/4交付 ☒ 併用あり（補助金名：亀岡 NAWASHIRO 基金） ※申請中含む
4. 対象	対象となる地域や地域住民を記入してください。

亀岡市、南丹市、京都市

5. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和8年4月1日～令和9年3月31日までです。
-------	--

令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

6. 地域課題・事業目的	地域課題と事業の目的を記入してください。
地域課題（どのような地域課題があり、誰がどのように困っているのか） 亀岡市においても、例外ではなく経済的な状況により共働き世帯が多く、子育て世代の場合やひとり親家庭の場合は受診したくても仕事の為に検診の時間がとれなかったり、子どもを預けることが出来ない等の理由で検診への意識が低下している。 乳がん検診だけではなく、全般の検診や自分への時間を取る事が出来ない。 一部の地域だけではなく、亀岡全域の課題としての取り組み。 また乳がんだけに留まらず、命や体の事を意識する。習慣を広げる。	
事業目的（上記の地域課題をどのような解決結果に導きたいのか） 自身の命、体を大切にすることが結果的には家族を守ることに繋がる為、検診への意識を高めていただくことで早期発見へと導く。また、セルフチェックやセルフケアの推進や情報提供につとめる。 ぴんくりぼんかめおかでは、乳がんだけではなく、検診の必要性を広げる。	

7. 事業内容

上記の課題を解決するためになにを実施するのか具体的に記入してください。

事業の実施概要

啓発ポスター、チラシの作成やトークショー等企画。啓発グッズ配布、販売、検診推進活動全般。
 亀岡市の取り組みでもある全国都市緑化フェアにも繋がるイベントを企画。
 プラごみを利用したワークショップ等でたくさんの方に
 体験していただき、亀岡市の課題でもある検診をすすめ早期発見へと導き、ピンクリボン、乳がん啓発
 にも関心を持っていただく。

市民検診の案内や、亀岡市での検診の補助などをより受けやすく、SNS や街頭啓発や企業様にもご協力
 していただき関心を広める。

行政だけではなく、イベント等を活用しながら市民への情報提供。
 行政と市民の間を持つ団体。

●スケジュール（会議、準備、イベント、検証などをいつ行うか計画を記入してください。）

日程	内容（活動内容・参加費・場所など具体的に記入）	場所・会場
4月	関係機関、団体と会議をし内容をかためる、協力企業様挨拶まわり	亀岡市
5月	光秀まつりパレードに参加 協力企業様挨拶 青年会議所ブロック大会 ブース出店	市役所 綾部日東精工 アリーナ
6月	街頭啓発、ポスター掲示、SNS での啓発活動	
7月	街頭啓発 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
8月	街頭啓発 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
9月	アウェアネス・フェスタ 2026 びんくりぼんかめおか主催イベント 亀岡市の取り組みでもある全国都市緑化フェアに多くの来場者がある ことから、普段関心のない、幅広い来場者への PR の機会としたいと考 えている。 全国都市緑化フェアのサプライズ花火のイベントと連動した取り組 「アウェアネス（気づき）」をテーマとし、乳がんの早期発見のため のピンクリボンの活動を知っていただく。 関連企業様にも出店いただき、夏祭りとして楽しんでもらう中で、 より一層活動に理解していただき、市民だけでなく多くの来場者に関 心を持ってもらう。	かめきたサン ガ広場
10月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
11月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
12月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
1月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	ガレリア、市 役所、保健セ ンター
2月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
3月	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動	
時期不明	啓発活動 ポスター掲示、SNS での啓発活動 亀岡市民検診にて啓発活動	

●情報発信方法		
発信媒体（チラシ、SNSなど）	発信量	広報範囲（配布範囲、掲示場所等）
SNS.チラシ、グッズ等啓発	1000	亀岡市、南丹市、京都市
ティッシュ	1000	

8. 目標	事業実施に当たって下記の目標を具体的に記入してください。
① 事業による変化・成果目標	亀岡市の取り組みでもある全国都市緑化フェア期間に合わせてイベントをする事により一層たくさんの方に知ってもらえる機会となり、ワークショップを通し環境面での学びもうまれ、子供たちにも学んでもらえる機会となる。
② 上記①を達成するための実施目標数値（事業の回数や参加者数など）	観光客の方にも気軽に参加していただきたく、1000 名を目標。

9. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
一般社団法人みんなの居場所 ORCA 様 一般社団法人 亀岡青年会議所 南丹清掃株式会社様 ごみの学校様 とともにワークショップ事業を開催しておりますのでご協力いただきます。	

10. ステップアップの内容	※活動2年目以降の団体は以下の内容を具体的に記入してください。
① これまでの事業実施時の課題と成果	

子供たちからも認知される団体になってきており、新しく会員になっていただける方も増えてきました。
イベントなどに出店依頼や企業さまからも研修会にお招きいただけるようになり、代表直々、講師を勤め、体験談をお話しする機会をいただきました。

② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べて活動の充実をさせているのか
限られた人だけではなくて、幅広い世代の方に向けてイベントを開催 関心を持ってもらえてきた事から検診を受けたり、自身の体のケアへと進んで行けるように促す。

11. 次年度以降の展開		
本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。		
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄付金）
2年目	啓発活動、イベントの参加等は継続し同時に、罹患した方が孤立することのないよう寄り添えるサロン・カフェ等の居場所づくり。学校等へと講演。	助成金、寄付金、自主事業

3年目	罹患した方でも、気兼ねなく働きやすい職場の創出と子育てを共に出来る伴走型支援。一時預かりや、罹患者へのサポートの知識。食事のサポート。20.30代でも検診を受けれる取り組み。	助成金、寄付金、自主事業
-----	---	--------------

12. 審査会

審査会の発表順番は何番を希望しますか。いずれかに○をつけてください。
申請書の提出が早い団体の希望を優先して順番を決めます。

一番最初	
前半	
後半	
一番最後	☒

申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施しますか。

「はい」もしくは「いいえ」にレ点を入れてください。

☒ はい

☐ いいえ

※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。